

広島市内 再開発事業について

広島市内【本通商店街】【八丁堀エリア】において新たな再開発事業が公表されました。この度は発表された再開発事業は、本通商店街西側一帯と広島 YMCA 所在地を中心とした一帯。

概要は以下の通りです。

【本通商店街】

< 計画概要 >

本通交差点の東側の一角。本通り商店街をはさんで、南北 2 棟の高層ビルを建設する。低層部分はデッキでつなぎ、商業や広場機能を持たせる。高層階はオフィスやホテル、マンションなどを入れる。地権者が 2021 年 3 月、「本通 3 丁目地区市街地再開発準備組合」を設立。野村不動産（東京）が事業協力者となった。

< 完成時期 >

最短で 10 年程度（2031 年ごろ）

【八丁堀エリア（YMCA）】

< 計画概要 >

オフィスや商業施設、マンションが入る 3 棟を段階的に建設する方針。事業費で 300 億～400 億円規模を見込む。再開発エリアは 1.2 ヘクタール。教育関連施設やホールが入る広島 YMCA のビル 5 棟をはじめ、市勤労青少年ホームが入る幟会館、銀行やコンビニがある民間ビル、マンションなど計 10 棟がある。全棟を取り壊し、地上 15～30 階程度のビル 3 棟を建設する。広島 YMCA など、一部の機能は引き継ぐ。市の京口門公園（1120 平方メートル）は新ビルの谷間に移し、植栽やベンチを整備した憩いのスペースを設ける予定。

< 完成時期 >

2028 年度まで段階的建設が目標

以上出典：中国新聞社 HP

他にも、基町市営駐車場エリア、サンモールなど、八丁堀・紙屋町エリアの再開発が続々と計画されています。街の発展に大きな影響力を持つ再開発が、今後どのように進んで行くのかが大変楽しみです。また、オフィスや住宅の需給バランスの変化など、不動産市況にどのような影響ができるか注目です。

参考 URL（中国新聞社）<https://www.chugoku-np.co.jp/Edit/saikaihatsu-map/>

令和 3 年 6 月

穴吹不動産流通株式会社
法人営業部法人営業グループ